

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療心理専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	医療心理総合演習Ⅵ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療心理専攻		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	飯塚 稔	実務経験とその関連資格	法務省さいたま少年鑑別所で心理技官として考査・鑑別業務に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
司法犯罪領域において必要な知識・技術をより深く学び、柔軟に応用する力とアウトプットする力を身につけられるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10% その他提出物等を勘案し総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<参考図書> 心理学検定基本キーワード集(日本心理学諸学会連合) 公認心理師必携テキスト(学研) 等						
《授業外における学習方法》						
参考資料や授業で紹介された著作を積極的に読み、主体的な学習をすることで不足する部分を補うことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
大手前大学現代社会学部の通信教育カリキュラムの単位取得を応援する。受け身にならず、積極的に進めてほしい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療心理専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	医療心理総合演習Ⅵ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療心理専攻		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	飯塚 稔	実務経験とその関連資格	法務省さいたま少年鑑別所で心理技官として審査・鑑別業務に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
司法犯罪領域において必要な知識・技術をより深く学び、柔軟に応用する力とアウトプットする力を身につけられるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10% その他提出物等を勘案し総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<参考図書> 心理学検定基本キーワード集(日本心理学諸学会連合) 公認心理師必携テキスト(学研) 等						
《授業外における学習方法》						
参考資料や授業で紹介された著作を積極的に読み、主体的な学習をすることで不足する部分を補うことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
大手前大学現代社会学部の通信教育カリキュラムの単位取得を応援する。受け身にならず、積極的に進めてほしい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。		指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	司法犯罪領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に応用できる力を身につける。	指定テキスト PC 等	配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	司法犯罪領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。		